

令和3年度  
入学試験問題

# 適性I

(第1回午前)



立正大学付属  
立正中学校

問五

※	※	※

問四

--	--	--

(裏うらに続きます)

令和三年度 立正大学付属立正中学校入学試験問題 適性Ⅰ (第1回午前) [解答用紙]

受験番号

氏名

得点

【

問一
ア

イ

--

問二

--

問三

--

問  
十

--	--	--	--	--	--	--	--



問九

--	--

問八

--	--

問七

--	--	--

問六

--	--

令和三年度 立正大学付属立正中学校入学試験問題 適性Ⅰ（第Ⅰ回午前）

問題の都合上、本文を変えているところがあります。

- 【一】次の詩と文章の作者の日野原重明さんは聖路加国際病院の内科医として院長や名誉院長などを歴任された医師のかたです。二〇一七年に一〇六歳で亡くなるまで元気で患者さんに治療を施していました。次の詩と文章を読んであとの問に答えなさい。解答にあたり、字数指定されていない場合は、字数制限はありません。

ぼくが十歳だった時のこと

ぼくの十歳の春

みんなが四年生に進級した時

ぼくは急性腎炎にかかって学校を休んだ

動くが悪いといわれたので

ぼくはまじめに仰向けに寝てばかりいた

横になってもよいといわれてからは

友たちから借りた『赤い鳥』『少年倶楽部』の

古い号を読んでいた

教科書の物語は短かすぎたが

雑誌の物語は長さがちよつとよかつた

顔や足の腫れがとれたので

床の上に座っていたら

「お習字の練習でも」といって

お母さんは古新聞の束を

床のそばに置いてくれた

何日もお習字を書いたため

一学期がすんで教室にもどつた時

教室で書いたお習字の半紙の端に

先生は赤い字で

「一等」と書き壁に貼り出してくれた

ぼくの大好きなお母さんは

その後 前からあつた腎臓病が急に悪くなり

夜中にけいれんを起こした

ぼくを治してくれたかかりつけの安永先生が

かけつけてお母さんに注射をしてくれた

先生は「尿毒症」だとお父さんに説明した

ぼくは安永先生に

「お母さんは死ぬの？」と聞くのが恐ろしくて

「病気は治るの？」と小さな声で聞いたら

静かにうなづいてくれた

お母さんの病気はすっかりは治らなくても

「ア」 いてさぐればばと

ぼくの部屋の隅に行つて

こっそりお祈りした

毎朝の決まつたお祈りよりもしっかりと

ぼくが人の死を初めて考えたのは

お母さんが病気になつたこの時と

ずっとあと「緋」に住んでいたおばあちゃんが

「ゴクッ」とのどを鳴らして息を止めてしまった時だつた

お棺に入れられたおばあちゃんには美顔のシフが残つていた

今 十歳になつたきみたちに

ぼくは言いたい

ぼくにもきみたちのような十代があつたことを

そしてぼくが今月十月 九十五歳になれそうなのは

ぼくがみんなから「イ」 ためだということを

ぼくは

安永先生のようなお医者さんになれたかしら

もしそうだとすれば

天国にいるお母さんやおばあちゃんが

きつと喜んでくれると思う

寿命とはわたしたちにあたえられた時間のことです。

人が生きているあいの長さを「寿命」といいます。日本人がいまのところ世界でいちばん寿命が長いということは知っていますか？ いまや日本人の平均寿命は八十二歳。男女別に見ると、男の人は七十八歳をこえて世界第二位、女の人は男の人よりもひとつ長生きで平均寿命は八十五歳をこえて、堂々の世界第一位です。

一九八〇年代までは、世界でいちばん長生きの人たちといえば、北極の国の人たちでした。それが、一九九〇年代に入つて日本がトップにおどりでて以来、日本人は毎年寿命をのびして、過去十年以上も世界一の長生きをほこっています。

けれども、日本人が昔から長生きであつたわけではありません。きみのおじいちゃんやおばあちゃんが子どものころは日本は貧しい国で、寿命もけつして長くはありませんでした。

一九二〇年代、それは大正時代から昭和の初めにあたりますが、その当時の日本人の平均寿命は四十二、三歳でした。きみのお父さんやお母さんのいまの年齢とそう変わらないでしょう？ そう思うと、ずいぶん短いですね。ちょうどきみのお父さんやお母さんが生まれた一九六〇年代に入つてからは、平均寿命は六十歳合までにのびました。それでもまだ世界のなかでは寿命はけつして長くありませんでした。それがその後四十年のあいだに二十歳以上ものびたのですから、まったくおとろきますね。

ところで、いま世界で平均寿命のいちばん短い国を知っていますか。アフリカのシエラレオネという共和国です。平均寿命は三十四歳。同じ地球に住む人間同士でありながら、日本人の寿命の半分より七歳もすくないのです。(二〇〇三年現在)

シエラレオネは、四年まえまで十年におよぶ戦争が続いていました。学校も家も戦争ですべてこわされ、土地は荒れて、すっかりやせてしまいました。そのために、いまも深刻な食糧不足が続いています。

面積でいえば北極圏と同じくらいひびの広い国ですが、全人口約五百万人に対して医師はわずか五十人しかいません。つまり、人口の約十万人に医師一人の割合です。病気にかかると十分な治療を受けられないまま死んでしまう人がおおせいののです。子どもたちは栄養が足りていないためにからだがとても弱く、五歳になる前に三人に一人が死んでしまうといひます。

アフリカにはほかにも、平均寿命が三十歳から四十歳台の国が三十か国近くもあります。エイズという病気やマラリアその他の感染症がまんえんしていることも、寿命を短くしてしまう大きな原因です。

(中略)

寿命というのは、つまり、生きることに費やすことのできる時間です。それは、生まれたときに、「はい、きみは日本人ですね。では、いまのところの平均寿命は八十二歳ですから、八十二年分の時間をさしあげましょう」と、平均寿命に見合った時間をほんど手わたされるようなものではありません。それではまるで、生まれた瞬間から寿命という持ち時間をとんとんけずっていくように、なんだか生きていくのがさみしい感じがしてきます。

わたしがイメージする寿命とは、手持ち時間をけずっていくとはまるで反対に、寿命という大きなからつぼのうつわのなかに、せいぜいばい生きて一瞬一瞬をつめこんでいくイメージです。

ほんやりして時間を過ごそうがなにかに没頭して過ごそうが、時間をどうつかうかは、一人ひとりの自由にゆだねられています。

もちろん、いまのきみの一日は、学校での授業や塾やおけいこことできつりスケジュールが組まれているかもしれせん。それでも、そのきめられた時間を集中して過ごすか、いねむりしながら過ごすか、あるいはこのそりをほつてしまいかは、きみ次第です。その時間の質、つまり、時間の中身を最終的にきめているのは、きみ自身だということです。

わたしは、この世に生まれたからには、あたえられた時間のなかにわたしのいのちをできるだけ注ぎこみたいと思っています。

いまのきみにこのことは理解するのはちよつとむずかしいかもしれませんが、こんなことはあります。これは、リハビリテーション医学を確立したアメリカのハワード・A・ラスク医師が、ご自分の先生であるジョージ・M・ピアソル先生から教えてもらったものだそうです。

「いのちに齡を加えるのではなく、齡はいのちを注ぐよつとしなさい。」

「齡」というのは「年齢」のことです。「加える」というのは「足す」ことですね。ならんでいることばはそれはとむずかしいはありませんが、その意味となるとなかなか深長です。きみがおとなになってさらにしほらくすれば、「ああ、そういうことだったのか」となつとくする日がくるでしょう。それまでのあいだ頭のすみに入れておくつもりで、すこしわたしの話を聞いてください。

「いのちに年齢を足す」というのは寿命が長くなることをいっているのですね。つまり「長生きする」ということですね。でも、きみほどのことばは「長生きする」のではなく「年齢にいのちを注ぎなさい」といつてます。では、「年齢にいのちを注ぐ」とはいつたいう意味でしょうか。

時間というものは、止まることなくつねに流れています。けれども時間というのは、ただのいれものにはすぎません。そこにきみがなにかをつめこむかで、時間の中身、つまり時間の質がままります。きみがきみらしく、いきらぎと過ごせば、その時間はまるできみにいのちをふきこまれたように生きてくるのです。

時間を生かすということとは、うらを返せば、死んでいる時間というものもあるということでしょうね。いのちをふきこまれないがかり、時間は、またその積み重ねである年齢は、死んでいるも同然だということです。

だんだんむずかしくなってきましたね。でも、ちよつと強引に先に進みますよ。

なにもしなくても、時間は流れていきます。なにもしなかったからといって、時間がそこでストップすることはありません。生まれたその瞬間から、からだは成長を続けます。身長はぐんぐんのびて、のびるところまでいくと、樹木の幹がだんだんかたくなり柱れていくように、人のからだも古くなっていきます、それを「老化」といいます。

老化していくにつれて、昔中は曲がり、からだのいたなところの筋がうすつべらになり、骨も中身がすこしずつ弱くなります。背だけはそのせいですこしちよつとしまいます。

でも、それは赤ちゃんと逆もとりしていくこととはちがいますね。とんとん先へと進んでいるのですから、老化もからだの自然な移り変わりだといえます。

なにもしなくても、人はだれでも年をとつていきます。からだはとんとん成長して、おとなの外見になり、やがては老いて、ちよつとわいですけれど、いつの日にか死をむかえます。それはだれもが共通したる運です。そこに時間が流れています。

ただし、その運をどんなふうに進んでいくか、時間の中になにかをつめこんでいくかは一人ひとりちがいます。

ここに、きみにいのちをふきこまれ生きてくる時間と、むだに過ごして死んだる同然の時間とがあるわけです。

わたしがこれから先、生きていられる残り時間は、きみにくらべるとずつと短いでしょう。けれども、それだけにいつぞ、一瞬一瞬の時間をもつと意識して、もつとたいどにして、せいぜいばい生きたいと思っています。

そして、できることなら、寿命というわたしにあたえられた時間を、自分のためだけにつかうのではなく、すこしでもほかの人のためにつかう人間になれるよつと、わたしは努力しています。

(日野原重明著『十歳のきみへ―九十五歳のわたしから』による)

(注) ※1 『赤い鳥』——一九一八(大正七)年に創刊。一九二六(昭和十一)年まで刊行された童話雑誌。近代児童文学の成立期に主導的な役割を果たした。

※2 『少年倶楽部』——一九二四(大正三)年に創刊。戦後の一九四六(昭和二十一年)年に『少年クラブ』と改名し、一九六二(昭和三十七)年まで刊行された月刊少年雑誌。

※3 深長——奥深い味わいや内容があること。

問一 ア、イにはどのような言葉が入りますか。考えを答えなさい。(アは三字。イの字數制限はありません。)

問二 ——線①「毎朝の決まったお祈りよりもしつかりと」とありますが、この時の「ぼく」の気持ちはどのようなようであったと想像できますか。答えなさい。

問三 ——線②「お棺に入れられたおばあちゃんには笑顔のシワが残っていた」とありますが、この表現から、おばあちゃんはどういうような人生を送った人だと想像できますか。答えなさい。

問四 ——線③「ぼくは 安永先生のようなお医者さんになれたかしら」とありますが、「ぼく」の目にうつった安永先生とは、どのようなお医者さんだっただと思えますか。具体的に答えなさい。

問五 ——線④「それがその後四十年のあいだに二十歳以上のびたのです」とありますが、日本人が寿命がのびた原因は何だと考えられますか。他国の例を参考にして、簡<sup>かん</sup>条<sup>じょう</sup>書きで答えなさい。

問六 ——線⑤「寿命という大きなからっぽのうつわのなかに、せいっぱい生きた一瞬一瞬をつめこんでいくイメージです。」とありますが、同じような内容を表現している部分を抜き出して答えなさい。

問七 ——線⑥「きみがきみらしく、いきいきと過(こ)せば」とありますが、あなたが「いきいきと過(こ)している時」とは、どのような時ですか。それはどうしてそう感じるのですか。あなた自身のこととして具体的に答えなさい。

問八 ——線⑦「時間を生かすということ」とありますが、「時間を生かす」とは、どのように生きていくことだと、作者は考えていますか。答えなさい。

問九 ——線⑧「だれもが共通してたどる道です。」とありますが、どのような道ですか。わかりやすく答えなさい。

問十 ——線⑨「自分のためだけにつかうのではなく、すこしでもほかの人のためにつかう人間になれるようにと、わたしは努力しています。」とありますが、あなたは将来どのような職業につきたいと考えていますか。その理由も答えなさい。またそれはどのような人たちのために役立つ仕事ですか。具体的にわかりやすく答えなさい。

令和3年度  
入学試験問題

# 適性Ⅱ

(第1回午前)



立正大学付属  
立正中学校

1

番号	取り組み


得点	
----	--

総合得点	
------	--

受験番号	氏名

2

(1)	%から		%
(2)	A	m B	m
(3)	mから		m

得点	
----	--

受験番号	氏名	
------	----	--

3

(1)	日
-----	---

理由
----

(2)	日
-----	---

理由
----

4

(1)	cm
-----	----

4

	(2)
--	-----

得点	
----	--

受験番号	氏名	

11 ここ最近、テレビや新聞などでよく聞くようになった「SDGs (エスディージーズ)」という言葉、皆さんは知っていますか。SDGsとは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称(りゃくしょう)であり、2015年9月に国連サミットの中で世界のリーダーによって決められた国際社会共通の目標です。17の目標があり、日本にある企業や大学も積極的に取り組んでいます。では、あなたが学校生活の中でできる取り組みを、以下の解答例のように6つ答えて下さい。

解答例 7番・・・教室のエアコンの設定温度を高めにし、電力を節約する。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

<b>1</b> 貧困をなくそう 	<b>2</b> 飢餓をゼロに 	<b>3</b> すべての人に健康と福祉を 	<b>4</b> 質の高い教育をみんなに 	<b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう 
<b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に 	<b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	<b>8</b> 働きがいも経済成長も 	<b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう 	<b>10</b> 人や国の不平等をなくそう 
<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを 	<b>12</b> つくる責任 つかう責任 	<b>13</b> 気候変動に具体的な対策を 	<b>14</b> 海の豊かさを守ろう 	<b>15</b> 陸の豊かさを守ろう 
<b>16</b> 平和と公正をすべての人に 	<b>17</b> パートナリシップで目標を達成しよう 	<b>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</b> 2030年に向けて 世界が合意した 「持続可能な開発目標」です		

2 光合成のはたらきによって、植物の葉は光がある強さになると表面から二酸化炭素を吸収し、それと同じ量の酸素を放出します。このはたらきによって、必要な栄養分をつくり、植物の成長をささえています。多くの植物が育つ森の中では、植物のしげみによって、光の強さは弱くなりますが、それでもいろいろな種類の植物が見られます。図1は森の植物2種類の若い木A、Bそれぞれについて、一定時間、一定面積で葉が吸収する二酸化炭素の量と光の強さとの関係を示しています。光の強さは、森のはしの強さを100%とした割合です。図2は、森のおくへ進んだときの光の弱まり方を示しています。この結果から次の問いに答えなさい。

図1

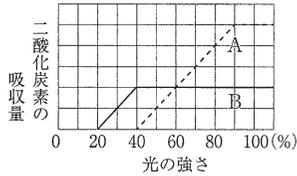
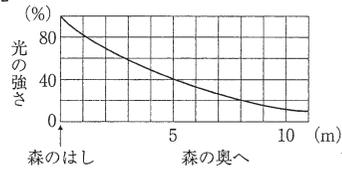


図2



- (1) BがAよりよく成長する光の強さは、何%から何%までですか。
- (2) A、Bがそれぞれ単独で生活できる森の中での生活できるはんいは、森のはしから何mまでですか。
- (3) A、Bの一方が他方より2倍以上の二酸化炭素を吸収すると、一方だけが成長し、他方はかれます。この場合、A、Bがともに生活できるはんいは、森のはしから何mから何mまでですか。

- 3 (1) 1から3の番号が書かれた箱があります。箱は左から1、2、3の順に並んでいます。この箱の中のいずれかに犬が隠れており、Aくんが寝ているときに必ず、犬は隣の箱に移動をします。朝、Aくんは1つの箱を調べて、箱の中に犬がいるかどうかを確認します。  
このとき、Aくんが犬を必ず見つけるためには、最低何日かかりますか。理由を示して答えなさい。

- (2) つぎに、箱を5個に増やします。(1)のルールと同じにしたとき、先生とA君の会話を参考にして、最低何日で必ず犬を見つけることができるか、理由を示して答えなさい。

A君「先生、一緒に考えましょう。」

先生「わかりました。まずは、犬が最初にどここの箱にいるかを考えてみてはどうか。」

A君「先生、それはどういうことですか。」

先生「犬がもし、2か4の箱にいる場合を考えてみてごらん。」

A君「2か4のどちらかにいるので、まずは2の箱を見えます。」

先生「そうだね。もし、2の箱にいれば、1日目で終わるね。でも、いなかったらどうなるかな。」

A君「犬は4の箱にいたこととなります。つまり、寝ているときに犬は3か5の箱に移動しています。」

先生「するどいね。その通りだよ。」

A君「2日目は3の箱を見ます。もしあれば、2日目で終わります。いなかったら、犬は5の箱に移動していたことがわかります。」

先生「A君の考え方はすばらしいね。」

A君「2日目に5の箱にいたので、寝ているときにまた、移動します。移動先は4の箱しかないので、3日目に4の箱を見ます。」

先生「そうだね。犬が2か4の箱にいるときは必ず、3日で見つけることができるね。2か4の箱に最初にいたときは、2、3、4の順に見れば、必ず、犬を見つけられるね。その調子で犬が1か3か5の箱にいるときも考えてみよう。」

A君「わかりました。」

- 4 半径3cmの円について、次の各問いに答えなさい。ただし、円周率は3.14とします。

- (1) 円の円周の長さを求めなさい。
- (2) 下の図を用いて円周率が3より大きいことを説明しなさい。  
ただし、円の内部にある図形は正六角形です。

